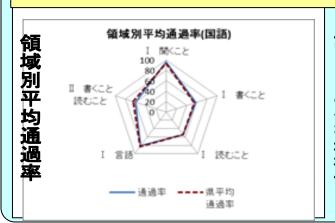
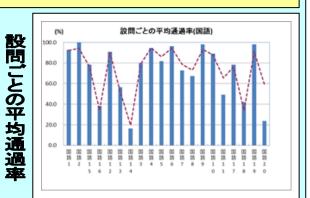
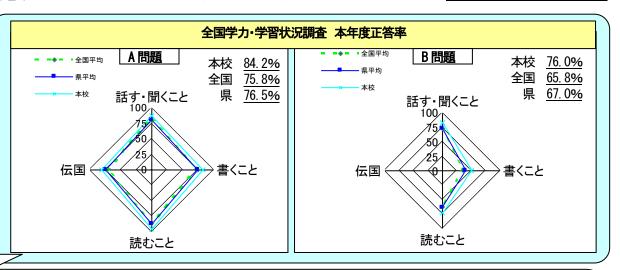
# 指導方法等の改善計画について 〔国語〕

### 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 72.2%,県 73.6%)







### 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎タイプ I「登場人物の心情の把握」(通過率 16.4%, 無回答 18.2%) の問題で、登場人物の気持ちの変化を、文章中の言葉を抜き出して解答するなど、自分の言葉で表現できていなかった。
- ◎タイプII「情報の取り出し・伝えたい事実を明確にした記述」(通過率 23.6%, 無回答 14.5%) の問題では、条件を満たして解答することができていなかった。
- ◇A問題では、文法や語句の知識の定着・活用ができていなかった。
- ◇B問題では、条件に即して、自分の考えをまとめて書くことができていなかった。

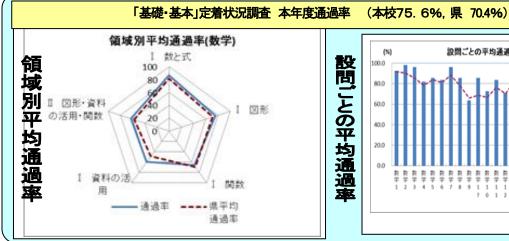
### 重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

- $\bigcirc$ タイプ  $I \cdot II$ に共通するのは、字数制限や条件をふまえて解答する問題に苦手意識があることである。授業では、課題文章を丁寧に読み取らせ、自分の考えを書いたり、内容を要約したりする機会を設ける。また、定期試験では字数制限や条件をつけた問題を出題する。
- ◎授業の中で自分の考えを表現し互いに認め合うペアやグループ活動を設け, 自分の言葉で表現することへの苦手意識を無く していく。
- ◇A問題については、基礎的内容の復習と練習問題をおこない、定期試験に出題する。
- ◇B問題では、字数制限や条件を与えられた問題の苦手意識があると考えられるので、少ない字数から条件をつけた作文を定期試験で出題したり、授業の中で自分の言葉で表現する場面を工夫したりしていく。
- ※小中一貫した取組については、「書くこと」において、字数制限や指定の単語を用いてまとめるなど、条件をふまえて書くように指導する。

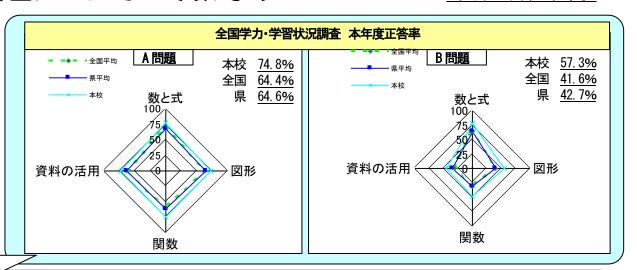
◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生 休み明けテスト	2年生 中間テスト	2年生 期末テスト		2年生 H27「基礎・基本」	1年生 H27「基礎・基本」	1,2年生 学年末テスト
目標値	70.0%	70.0%	70.0%		75.0%	65.0%	70.0%
実施後数値							
◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	3年生 休み明けテスト	3年生 中間テスト	3年生 実力テスト,期末テスト		3年生 学年末テスト	3年生 実力テスト	
目標値	70.0%	70.0%	60.0% 70.0%		70.0%	60.0%	
実施後数値							

### 来年度に向けて

# 指導方法等の改善計画について 〔数学〕







### 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎タイプⅡで情報の適切な選択するが49.1%, 比例のグラフの理解が47. 3%で昨年に引き続き問題の読み取りに課題が残った。
- ◎資料の整理の用語が十分理解されていない。昨年度最頻値の意味の通過率が5 5.8%であったが今年度74.5%と改善されたが、中央値の意味が45.5% と低く中央値の意味の定着が不十分であった。
- ◇数学Aで、「数量の関係を文字式に表す」の通過率が31.8%、数学Bで「事 象を式の意味に即して解釈し、その結果を数学的な表現を用いて説明することが できる」の通過率が36.4%で低かった。県平均、全国平均は上回っているが、 文字式で表したり、式の意味を表現することが不十分である。

### 重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

◎最頻値の意味は改善されたが、昨年度に引き続き最頻値、中央値、平均値の意味をそれぞれの特徴を比較させて再度指導しする。 ◎読み取りや、自分の考え方を表現させ、数学的言語活動の充実を図っていく指導を行う。

◎通過率30%未満の生徒に対しては、個別指導、係わり合い学び合いの学習活動や小テストを実施し学習意欲の向上と基礎的内容の定着を 図る指導を行う。

◇活用問題などで、事象を式で表したり、式で表されていることを説明させて表現させたりする授業を仕組んでいく。

※小中一貫した取組については、昨年度に引き続き思考力・判断力・表現力を身につけていくために、基礎的内容の定着をもとに、活用問題 で根拠をもとに考え、表現させるように指導する。

	1						
◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12 月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生 休み明けテスト	2年生 中間テスト		2年生 期末テスト	2年 H27「基礎・基本」	1年 学力テスト	1年生 H27「基礎・基本」
目標値	70%	70%		70%	80%	70%	80%
実施後数値							
◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	3年 休み明けテスト		3年 実力テスト	3年 期末テスト		2年 H27全国	
目標値	65%		60%	6 5 %		70%	
実施後数値							

### 来年度に向けて

来年度に向けて

# | 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 54.1%, 県 50.2%) | 領域別平均通過率(理科) | 生物 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 |

# 

地学的領域

### 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

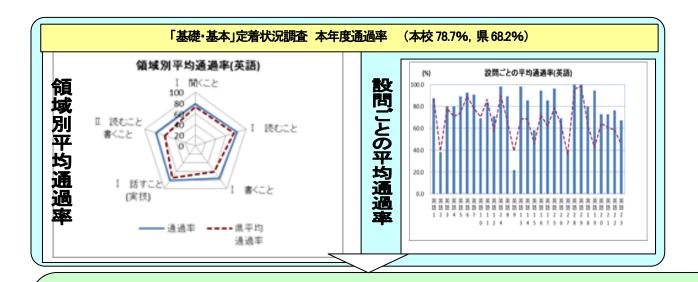
- ◎ ①被子植物と裸子植物の花の作りを比較し、違いをすべて選択する問題で、3つある答えの内、1または2しか答えていない生徒が50%、1つだけでかつ記号で答えていない生徒が15%おり、文章の読解とそれぞれの植物の特徴の把握が不十分であることがわかる。(通過率10.9%)
  - ②なぜスキー板をはくと雪に沈み込まないかを根拠をあげて説明する問題で、「力の大きさ」と「面積」と「圧力」の関係を正しく把握していないために、説明できていない生徒が多い。(通過率18.2%)
- ◇①雲の成因について、他者の考えを検討して、誤っているところを改善する問題で、複数の条件を満たした回答になっていない。(通過率 20.5%)
  - ②検流計の針が振れる理由を「磁界」という言葉を使って説明する問題で、完答は 15.6%準正答は 50.3%で、条件を満たしていない回答が多い。

### 重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

- ◎①比較して違いを見つける問題では、比較すべき対象を言葉ですべて書き出した上で比較することの重要性を 指導し、正しく違いを見いだせるようにする。
- ②計算問題はできるが、言葉で説明されると理解できないことが多いので、文章題の読み取りをしっかりさせていく。また、圧力や密度、速さやオームの法則のように、y=a/xやy=axの比例、反比例の関係で表される問題について、それぞれの関係を正しく説明することができるようにする。
- ◇①②について、文章を正しく読み解き、複数の条件を正しくつかむために、振り返り学習を繰り返し実施する。

※小中一貫した取組については、昨年度に引き続き思考力・判断力・表現力を身につけていくために、根拠をもとに考え、表現させるように 指導する。

◎「基礎・基本」	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生休み明け テスト				2年生 H27 「基礎・基本」	1年生 H27 「基礎・基本」	1年生 学年末テスト
目標値	65.0%				65.0%	65.0%	65.0%
実施後数値							
	,,						
◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<u>◇全国学力</u> 学年・方法	9月 3年生 休み明けテスト	10 月	11月	12月 2年生 H 2 7 「全国学力」	1月	2月	3月 2年生 学年末テスト
	3年生	10月	11月	2年生 H27	1月	2月	2年生



### 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ①「聞くこと」の領域において、英語での問いかけに対する適切な応答が出来ていない。(1-2通過率38.2%)
- ©②「書くこと」の領域において、基本的な文の決まりを理解した作文が出来ていない。(5-2 通過率 21.8%)
- ◎③「話すこと」の領域において、自分の考えや気持ちなどは伝えられるが、正確さに欠ける。(実技-3通過率40.0%)

### 重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

- ◎①昨年度に引き続き、英語のまとまった会話を聞く機会を増やしていく。その際、聞くポイントを示したり、 メモを取る癖を確実につけたりさせたい。
- ◎②単語の並べ変え問題や英作文において、自分の英文が「根拠を持ってこの順序である」と説明できるよう、 少人数グループやペアを用いて学習を深める時間を確実に作る。
- ◎③授業中に話すときにも、会話の中で思いを伝えるだけでなく、より丁寧に正確に答えることに重点を置いた 指導を行う。
- ※小中一貫の取組については、中学校の英語学習で大切にしていることを小学校への乗り入れ授業や交流授業において教師がしっかり伝えたり、中学生が模範を示したりして、小学校のうちから学習の構えを作る。

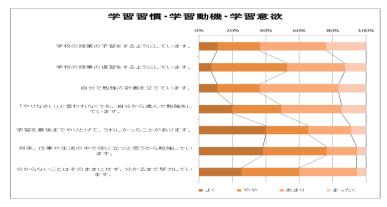
O FINAL O		Ι _					
◎「基礎・基本」①		10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2 年生 休み明けテスト	2 年生 中間テスト		2 年生 期末テスト	2 年生 H27 基礎・基本		2年生 学年末テスト
目標値	70.0%	70.0%		70.0%	90.0%		75.0%
実施後数値							
							1
◎「基礎・基本」②	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	3 年生 実力テスト		3 年生 実力テスト			3 年生 実力テスト	1 年生 H27 基礎・基本
目標値	75.0%		75.0%			75.0%	60.0%
実施後数値							



来年度に向けて

## 2 **質問紙調査** (「基礎·基本」定着状況調査:生徒質問紙調査) (全国学力·学習状況調査:生徒質問紙調査)

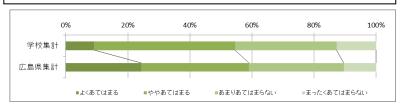
### (1) 生活•学習



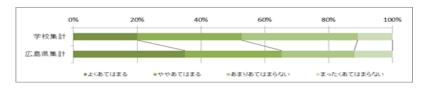
### 生徒の回答についての 検証 実施 蹴働ら 今後の具体的な取組の内容 目標値 検証方法 年 課題(現状値) 時期 数値 の触び 「学校の授業の復習をしていま」昨年度からは、0.8%減少しているが、 同じアンケート 12月 基礎·基本 す。」の肯定的評価が 52.7%であ 昨年度と同様に継続して、各教科で課 学 題の出題と復習する意欲が高まる授 った。 業の工夫改善を行っていく。 各教科で課題を出し、予習ができる 3 「家で,学校の授業の予習をして 70% 同じアンケート 12月 ような、授業の工夫改善を行ってい いますか。」の肯定的評価が 年 生 27.3%であった。

# (2) 教科

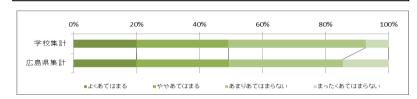
### 国語の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。



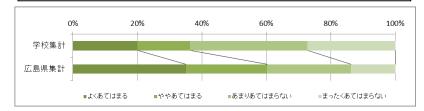
### 数学の勉強は好きです。



### 理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。



### 英語の授業では、少ない人数で学習する方がよくわかります。



		生徒の回答についての 課題( <b>現状値</b> )	授業改善の方向性や 具体的な取組	学 年	目標値	検証方法	検証 時期	実施 数値	現版から の伸び
国	基礎・基本	「国語の授業の中では、学んだことの振り返りをしています。」の肯定的評価が54.5%で、広島県平均より4.5%下回った。	読み取った内容のまとめを生徒の 言葉でおこなったり、ワークシートなどに自己評価欄を設けたりするなどの振り返りをおこなっていく。	2	6 5%	同じアンケート	2年生 2月		
語	全国	「読書は好きですか」の肯定的評価は、63.6%で、全国より4.3%、広島県より6.3%下回った。	朝読書の継続や図書委員からポス ターで呼びかけ、並行読書の促し など、工夫して読書の推進をおこ なっていく。	3	70%	同じアンケート	3年生 1月		
数	基礎·基本	「数学の勉強は好きです。」の肯定的評価が52.7%で広島県より12.6%下回っていた。	導入やまとめで数学が日常生活の中で生かされている具体例をあげて指導していく。また学び合う学習で理解を深めていく。	2	65%	同じアンケート	2年生 2月		
学	全 国	「数学の授業の内容はよくわかりますか」の肯定的評価が75.0%で,全 国より3.4%上回っていたが,県よりも-1.7%下回った。	基礎的学習を定着させるように小テスト や課題を行う。そして学び合う学習で理解 を深めていく。	3	80%	同じアンケート	3年生 12月		
理	基礎·基本	「理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。」の肯定的評価が49.1%で広島県より0.2%下回った。	実験前の仮説設定の場面や実験結果の考察の場面で、ペア学習や班での話し合いを 更に取り入れ、学び合う学習を実践してい く。	2	60%	同じアンケート	2年生2月		
科	全国	「理科の授業では、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしていますか」の肯定的評価が 68.2%で、広島県より 25.2%、全国より 29.8%上回っているが、アンケート項目の中では数値が最も低い。	実験前の仮説設定の場面や実験結果の考察の場面で、ペア学習や班での話し合いを 要に取り入れ、学び合う学習を実践していく。	3	85%	同じアンケート	3年生 12月		
英語	基礎·基本	「英語の授業では、少ない人数で学習 する方がよくわかります。」の肯定的評 価が、36.4%で、広島県より 23.9%下 回っていた。	ペアやグループ学習の充実を図り、お互いに教えあい、学びあえる集団作りに取り組み、学び合う楽しさを通して、理解を深めていく。	2	60%	同じアンケート	2年生 2月		